



新卒者看護過程研修

～個別性のある看護を実践しよう～



新卒者67名が看護過程研修を受講しました。講義では、アセスメントデータベースの枠組み、全人的視点、看護問題と看護診断、患者目標と看護介入の関係を学びました。グループワークでは、事例を用いて、データ解釈、情報の整理・統合、診断候補の選択を行い、看護診断後、患者目標、看護介入をまとめて、学習を深めました。研修終了後、プライマリーナースとして今後患者と関わる際の課題を明確化できていました。



インタビュー演習では、看護師役、患者役を体験しました。効果的な話の聞き方や質問の仕方に難しさを感じていましたが、演習後、お互いにフィードバックをしながら、コミュニケーションするうえでの、基本的姿勢と態度を学びました。



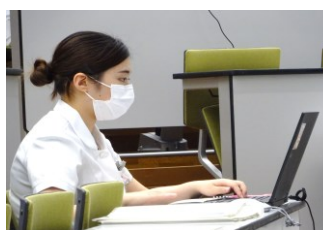
講義では、患者の強み・気がかり・困りごとに着目し、個別性を考慮した看護を展開する必要性を学びました。

三会場に分かれ、臨床推論モデルを使用して、看護診断の確定、看護目標や看護介入を論理的に考えました。研修者同士でディスカッションを行うことで、学びを深めていました。



看護過程操作研修

研修日：7月13日



情報収集した内容を、アセスメントデータベースに入力する操作方法を学びました。



看護過程研修時に立案した看護計画について、実際に項目を選択したりコメントを入力しました。

8月10日から看護過程サポートを開始します。インタビューの同席、アセスメントから看護計画立案、評価までのサポートを行います。新人教育に関して、ご意見やご要望等がありましたら、お気軽にご連絡ください。
看護職キャリア支援 教育担当